



自衛隊栃木地方協力本部

一般曹候補生前期修了式に参加 ～広報官としての喜び～

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田1陸尉）は、6月27日（金）、武山駐屯地にて実施された一般曹候補生前期修了式に、2名の広報官（松尾3曹及び黒崎3曹）が参加し、初々しい2等陸士達の晴れの日に立ち会った。

特に黒崎3曹については昨年8月から広報官として勤務して初めての入隊者ということもあり、担当した入隊者の凜とした姿に終始嬉しそうな表情を浮かべていた。式が始まる前には担当した薄井2士、川野2士とも再会し、数か月ぶりに顔を合わせると後期部隊の話や前期教育での思い出など限られた時間ではあったが、嬉しそうに言葉を交わす姿が印象的だった。

黒崎3曹は「担当した子が無事卒業して」広報官冥利に尽きます」と語り、また募集業務に邁進していくことを力強く語ってくれた。

大田原地域事務所は、「引き続き入隊者との連携及び信頼関係を強化し、「地域密着型」の広報で邁進していく」としている。



川野2士と黒崎3曹（右） 薄井2士と黒崎3曹（左）



黒田原小学校「防災教育支援」を実施 ～人命救助教育～

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田1陸尉）は、7月2日（水）、那須町立黒田原小学校において、人命救助を目的とした防災教育支援を実施した。

今回の「防災教育」は、水泳の授業の開始や川遊び等による水難事故に対して「正しい救助法を学ぶ」というテーマに沿って、訓練用のAEDや人形を用いた心肺蘇生法の教育を4年生の保護者や教員の方々、計45名に対して実施した。

教育が始まると、グループごとに並べられた3体の訓練用人形を囲いながら、「AEDもってきて！」「119番に連絡をして救急車呼んで！」といった実際の場面を想定した実習をしており、動作に不安を感じた場合はすぐに近くの自衛官に質問を飛ばすなど真剣な眼差しで実習をしていた。参加した保護者の1人は「（自動車運転の）免許を取るときに学んだが、ほぼほぼ忘れてしまっていた。子供の命を守るために継続的に練習していきたい」と語っていた。

大田原地域事務所は、「引き続き多くの学校との連携及び信頼関係を強化し、『地域密着型』の広報で邁進していく」としている。



心肺蘇生法教育の様子

